

相双地方とは

福島県の地図は長方形、それを縦（南北）に3つ切って、左（西）から右（東）に、会津・中通り・浜通り地方と言います。毎年7月下旬に行われる「相馬野馬追い」は、相双地方に生きる人達の、心の拠りどころです。

「相双は浜通りの北部の相馬地方・双葉地方の頭文字を取って、「相双地方」といいます。相双地方には12市町村があり、かがやく海と阿武隈の豊かな自然、そして人情味あふれる土地柄です。

海洋性気候のため、夏は海から涼風が吹き、比較的すごしやすく、冬でも降雪日が数えるほどしかありません。この地域は東日本大震災とりわけ福島第一原子力発電所の事故により大きな被害に見舞われましたが、現在復興に向けて力強く歩んでいます。」（パンフレット「相双」）

相双地方のこれまでとこれから（パンフレット「相双の歩き方」）

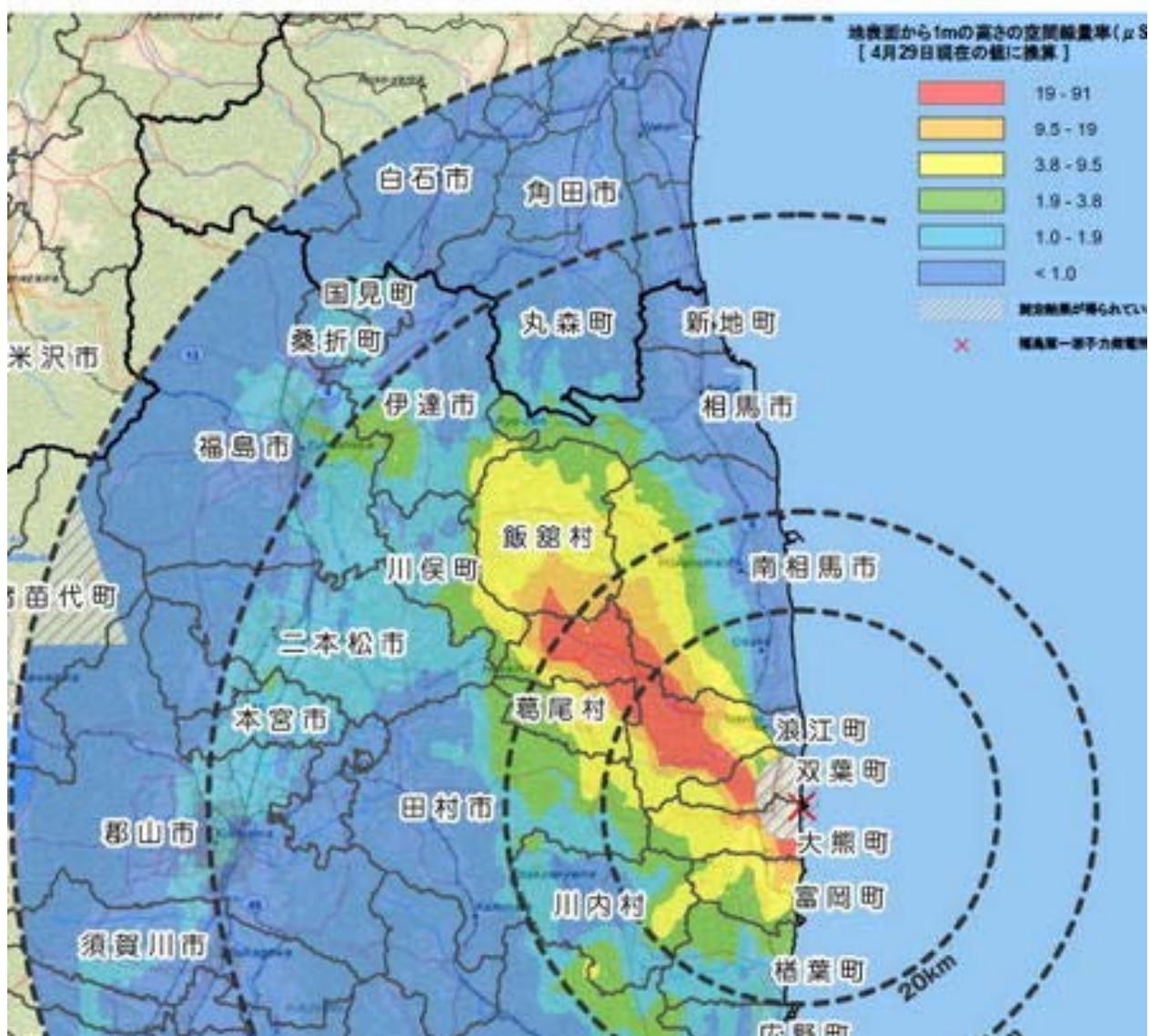
年 月	できごと
平成23年3月11日	東日本大震災発生、大津波による被害（自然災害） 東京電力福島第一原子力発電所事故（人的災害）
平成23年4月	原子力災害対策特別措置法による避難指示区域の設定
平成23年9月	緊急時避難準備区域解除
平成24年4月～ 平成25年8月	避難指示区域の見直し （放射線の年間積算線量に応じて3区域に再編）
平成24年3月	双葉郡広野町 帰町開始
平成24年4月	双葉郡川内村 帰村開始
平成25年11月	双葉郡檜葉町沖で世界最大級の「浮体式洋上風力発電所」 運転開始
平成26年9月	一般国道6号線での特別通過交通開始 （相双地方の南北分断が解消 南相馬市～いわき市が1時間40分でつながる）
平成27年3月	常磐自動車道全線開通 （相双地方と首都圏、仙台圏が高速道路でつながる）
平成27年4月～6月	ふくしまデスティネーションキャンペーン開催
平成27年4月	双葉郡広野町にふたば未来学園高等学校開学 （文部科学省 スーパー・グローバル・ハイスクール）
平成27年9月	双葉郡檜葉町 避難指示解除、帰町開始
平成28年中	JR常磐線（宮城県浜吉田駅～相馬駅）移設再開通予定 （相双地方と仙台駅をつなぐ鉄道再開）
～随時	福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想の推進

相双地方の12市町村

- * 浜通り—新地町・相馬市・南相馬市・浪江町・双葉町・大熊町・富岡町・楡葉町・広野町
- * 阿武隈山地—飯館村・葛尾村・川内村

【相双地方の放射線マップ】

文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果
(福島第一原子力発電所から80km圏内の線量測定マップ)



* 相双地方の地図について、「観光案内の地図」にするか、「放射線マップ」にするか迷いましたが、やはり「放射線マップ」にしました。